

経営比較分析表（令和4年度決算）

愛媛県愛南町 愛南町国保一本松病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
19,575	3,752	第2種該当	-	20:1

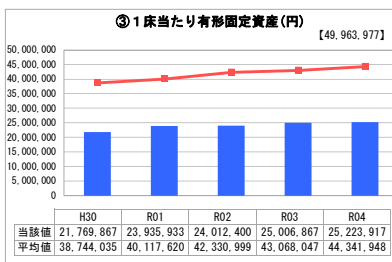
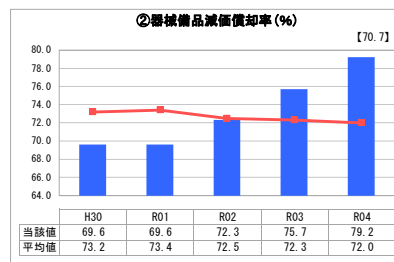
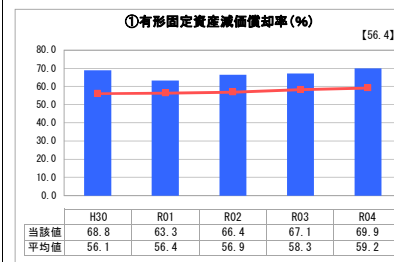
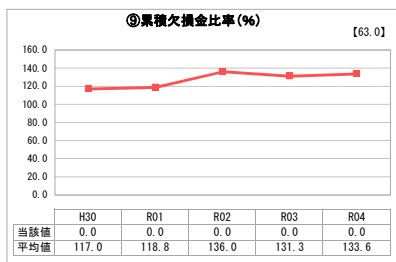
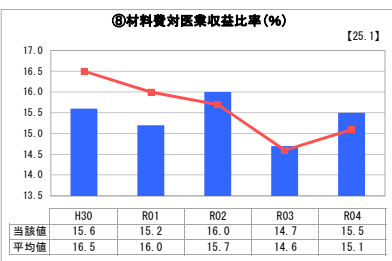
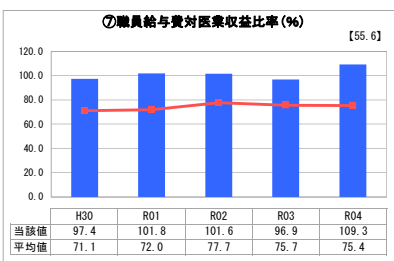
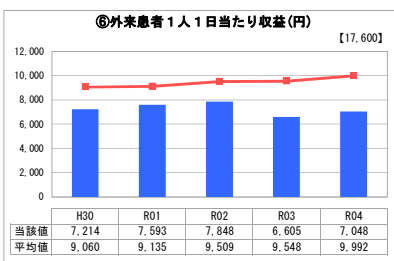
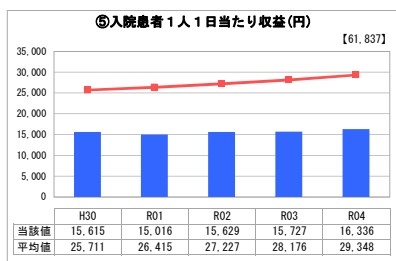
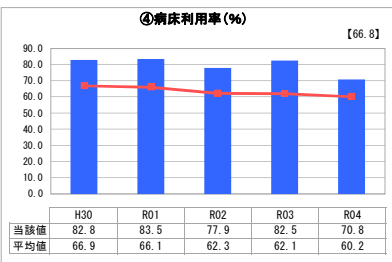
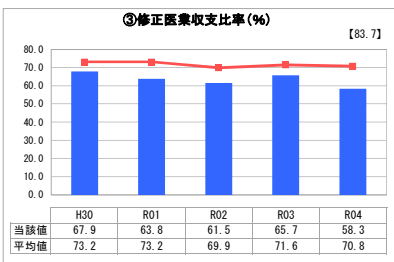
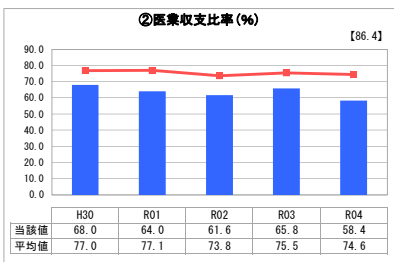
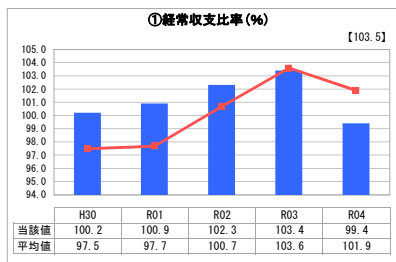
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	60	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	53	53

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (関係機関・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

愛南町で療養病床を有しているのは当院のみであり、長期療養が必要な患者を受け入れている。
また、町で唯一の二次救急医療機関である県立南宇和病院の医師不足が深刻な状態であることから、当院医師が宿直等の業務支援に携わり、県立病院医師の業務負担軽減などを通して地域医療の充実に努めている。
半島部の無医地区での出張診療もっており、住民の医療に対する不安の解消に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率では99.4%と100%を下回る状態となっている。この原因としては入院患者の退院数が多く、入院収益が伸びなかったことが影響している。病床利用率でも前年度と比較し、延利用者減少による影響が出ている。
当院は入院収益の比率が高い傾向であるため、患者の受入態勢の維持に努める必要がある。
累積欠損金は当院では発生しておらず健全な経営運営ができています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率では類似団体平均値を上回っており、施設の老朽化が進んでいる。
器械備品減価償却率も類似団体平均値を上回っており、器械備品の老朽化も進んでいる状態である。
今後とも計画的な資産管理（建物維持、医療機器更新等）に努めていきたい。

全体総括

令和4年度決算において、経常収支比率は99.4%と100%を下回ったものの、累積欠損金は発生していないことから健全な運営ができている。しかし医業収支比率が類似団体と比較し低く、医業収益で賄えない部分を繰入金に頼っている状態であるため、病床利用率の向上等により安定した医業収益の確保に向けた努力が必要となっている。また施設設備や機器の老朽化も懸念され、今後は計画的かつ効率的な経営に努めていきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。